

T W C ニュース

2019年度 秋の遠征ウォーキング
「温泉と自然豊かな、近代化遺産の残る
群馬の県都前橋を歩こう」

2019.11.06

WC 年中行事の、秋の遠征ウォーキングは、今年も願ってもない晴天の下、21名の参加を得ておこなわれた。

出発時間が7:30と早朝にも関わらず、集合時には全員元気な装いで、バスに乗り込んだ。バスは定刻に圏央道、関越道と進んで、9時前に群馬県の県都前橋に到着。



前橋、群馬県の県庁所在地であることは周知のところだが、その魅力はあまり知られていない。経験豊富な篠原さんが、いくつかの候補の中から推薦されただけに大変素晴らしいところであった。前橋に限らず、群馬県は山々に囲まれた大パノラマの地形がすばらしく、この日は天候にも恵まれ快適であった。



県庁の最上部にある展望台から、しばし

これらの景色を眺め、すれ違う遠足の小学生と挨拶を交わす。

県庁の敷地につづいて前橋公園が広がり、その一角に、天皇を迎えるために建てられた臨江閣がある。本館、別館、茶室からなる近代和風の木造建築で、国指定重要文化財になっている。この日は、説明員の近藤さんから丁寧な説明があり、一同熱心に拝聴した。

臨江閣をあとにしたのは、予定をかなりオーバーした12時半を過ぎであった。

最後の訪問地は、ゆったりとくつろげる自然温泉とレストランのある「あいのやまの湯」という施設。それぞれ注文した料理の評判は、みな満足度は高かった。時間の関係で、ゆったりとはいかないが、自然温泉をひと浴びして15:00に前橋を後にした。

今回は、会員外から片野恵子さん、伊東美津枝さん、石村章子さんの特別参加をいただき感謝している。



参加者の皆さんには、それぞれに秋の有意義な一日を、美しい思い出とともに胸に刻んでいただけたと思う。

最後に、この行事の企画、実行にご尽力いただいた篠原さん、関本さん、石田さんに感謝申し上げたい。(文責 矢部健)